

「早寝・早起き・朝ごはん」運動を実践しよう!!

# えんじゅ

東松島市立赤井小学校  
学校だより No. 12  
令和3年2月25日



◎目指す児童像 **あ**たたく **か**しこく **い**きいき

学校 HP アドレス <http://www.akai-e.higashimatsushima-c.ed.jp/>

## 令和2年度もあとわずか!!

### 「まとめる&つなぐ」大切な時期

日中の日差しが春の訪れを感じさせるようになってきました。1月30日には和太鼓修繕記念和太鼓発表会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため地域の方々をお招きできず残念でした。また、2月13日夜の福島県沖を震源とする震度5強の地震、2月15日の大雨等の自然災害が続いております。赤井地区では停電や断水などあったようですが、大きな被害はなかったようで安心しました。新型コロナウイルス感染症への予防そして自然災害への備えと気持ちが休まる暇がない方もいらっしゃるかと思います。寒暖の差が激しい時期ですので健康に留意して生活していきたいものです。

今年度も残り少なくなってきました。1年生から5年生まではそれぞれの学年での学習や生活をまとめ、次の学年へと確実な歩みを進めるように指導中です。また、6年生は小学校の学習や生活のまとめと、中学校への進学を意識し指導をしています。

どの学年も今年度の大きな成長を確かなものにし、4月からの生活がスムーズにいくよう「まとめる&つなぐ」を大切に、残りの期間を過ごしたいと思います。



ホップ・ステップ・ジャンプ



※行事は変更になることがあります。ご了承願います。  
※詳しいものは学年だよりをご覧ください

日	曜	主 な 行 事	日	曜	主 な 行 事
1	月	6年卒業式練習開始	18	木	式場準備
2	火	6年奉仕作業	19	金	卒業式 1～5年休業日
3	水	和太鼓引継式 6年生を送る会	20	土	春分の日
4	木	代表委員会	24	水	修了式
5	金	6年感謝の会	25	木	学年末学年始休業日 ～ 4/8
11	木	福幸祈念集会 みやぎ鎮魂の日	29	月	離任式(登校日)
15	月	卒業式予行			

おめでとう



○石巻地区書きぞめ展

硬筆の部	優秀賞	1年	杉山	楓歩	さん
毛筆の部	優秀賞	4年	横山	陽一	さん
		6年	及川	央	さん
		6年	佐藤	香里奈	さん

## 生徒指導部より

春の気配が感じられるようになりました。もうすぐ、卒業・進級の時期になります。赤井の子どもたちは地域のみんなの子どもとして、見守り、お声掛けをいただくようお願いいたします。

このタイミングでスマホデビューをするお子さんもいるかと思います。すでに本校でも、スマホや家族のタブレットで自由に動画視聴やゲームをしたり、LINEでのやり取りをしたりしている児童が多数います。便利な道具であり、今後は使えるようになることが求められますが、スマホは非常に危険な社会との窓口であるふとやいじめ等の問題が起きる可能性が大きいことを大人が正しく理解して伝えることが、とても大切です。脳の発達未熟な子どもたちが、インターネットによる大量の刺激を受けることによる影響も様々な研究者により発表されています。以前、この欄で紹介した国立病院機構久里浜医療センターでまとめた「スマホやパソコンとの付き合い方のポイント」を再度掲載します。ぜひ、春休み中にお子さんとスマホやインターネットとの関わり方について、話し合い、確認していただくようお願いいたします。

### スマホやパソコンとの付き合い方のポイント

- 親の名義で購入し、子どもに貸す形にする
- 買う前にルールを作る。紙に書き、目に付くところで保管する
- ルール違反には「翌日は使用禁止」などのペナルティーを。一度の違反で全てを取り上げるのは好ましくない
- オンラインゲームをお金をかけずに楽しむには時間が必要になるので注意する
- 親もルールを守り、模範となる使い方をする
- リビングなど、家族がいる部屋で使う
- 親に無断でオンライン決済をしない
- スポーツなど五感を使うことで、現実世界を大切に



国立病院機構久里浜医療センターのHPから

## ～防災コーナー～

2月13日の久しぶりの大きな地震に10年前の震災を思い出した方も多いのではないのでしょうか。また、いつ起きるか分からない大地震。いつでも非常事態に対応できるように、もう一度、家庭での備えや緊急時の避難場所などを家族で確認しておきましょう。

家族がそれぞれ別々の場所にいるときに、災害が発生したときには、お互いの安否を確認できるように、日頃から安否確認の方法や集合場所などを家族で話し合っておきましょう。

家族みんなが携帯電話を持っている場合でも、災害時は回線がつながりにくくなるため、連絡がとれない場合があります。安否確認には、「災害用伝言ダイヤル(171)」、携帯電話のインターネットサービスを利用した「災害用伝言板」などのサービスを利用しましょう。

### ■災害用伝言ダイヤル

大災害発生時に、被災地内の電話番号に限り利用可能なサービスとして、局番なしの「171」に電話をかけると、音声ガイダンスに従って安否などの伝言を音声で録音することができます。被災者の家族等が全国どこからでもその伝言を再生し安否を確認できたり、被災者に対する伝言を録音したりすることができるサービスです。一般加入電話や公衆電話、一部のIP電話から利用できます。



### ■災害用伝言板

携帯電話のインターネットサービスを活用し、被災地域の方が自らの安否を文字情報によって登録することができるサービスです。

大災害発生時には、携帯電話各社のポータルサイトのトップメニューに「災害用伝言板」へのリンクが表示されます。登録された伝言は各社の携帯電話やパソコンなどで、電話番号をもとに検索することで閲覧することができます。

防災週間(8月30日～9月5日)の間中はこれらのサービスの体験利用が可能です(※)。この機会にぜひ体験利用してみてください。

※防災週間期間中のほか、毎月1日と15日、1月1日～3日、防災とボランティア週間(1月15日～21日)も体験利用が可能です。

引用：政府広報オンライン

### ■災害時に備えた備蓄品の例

- ・飲料水 一人1日3リットルを目安に、3日分を用意
  - ・食品 ご飯(アルファ米など一人5食分を用意)、ビスケット、板チョコ、乾パンなど、一人最低3日分の食料を備蓄しておきましょう。
  - ・下着、衣類
  - ・トイレトペーパー、ティッシュペーパーなど
  - ・マッチ、ろうそく
  - ・カセットこんろ
- ※非常に広い地域に被害が及ぶ可能性のある南海トラフ巨大地震では、「1週間分以上」の備蓄が望ましいとの指摘もあります。  
※飲料水とは別に、物を洗ったり、トイレを流したりするための水も必要です。日頃から水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつもはっておくなどの備えをしておきましょう。

